

多様な家族と、 つながりの 育てかた

入場無料

お子さま
ご一緒でもOK

※託児はありません



社会的養護・家庭的養護に関わる人々を紹介するWebマガジン Enlight (エンライト) が、イベントを開催します。里親、養子縁組家庭、STEPファミリー当事者の話を聞きたい方、家族間の問題をテーマにしたアートに興味がある方、地域の子育て支援について知りたい方、お子様連れでも、お一人でも、大歓迎。みなさん是非ご参加ください。一緒に考え、語りましょう！ ※長谷川美祈写真展『ホウセキ』同時開催

開催日時

2019年2月24日(日)

会場



〔開場〕12時00分〔イベント〕13時00分～17時00分 ※閉会後も会場で18時までゆっくりしていただけます。

東京都墨田区千歳2-6-9 イマケンビル1階

お問い合わせ

エンライト事務局 enlight.fostercare@gmail.com ○参加無料 ○1ドリンク付き ○託児はありませんが、赤ちゃんお子さんも一緒にどうぞ

| | |
|---------------------------------------|---|
| セッション01 | <p>〔前半〕映画で伝える、 多様な家族の形</p> <p>〔後半〕トークセッション 『隠された痛みとアートの可能性』</p> |
| 13:00 ↓ 14:30 | |
| 小澤雅人(映画監督) × 長谷川美祈(写真家) × ヤマダカナン(漫画家) | |

特別養子縁組をテーマにした新作を制作中の映画監督・小澤雅人さん、虐待被害者の痛みを可視化した写真集が海外で賞を獲るなど、国内外で高く評価されている写真家の長谷川美祈さん、自身の虐待体験を描いたコミックエッセイが話題のヤマダカナンさんといった3名のアーティストに、家庭的養護を題材にした作品を発表することについてお話をうかがいます。

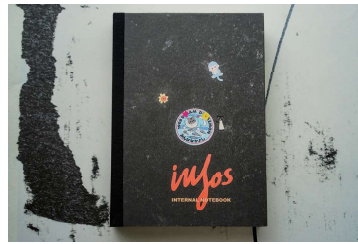
| | |
|---------------------|---|
| セッション02 | 『“かぞく”をつなぐ、 “ムラ”を育てる』 |
| 15:00 ↓ 16:30 | |
| 登壇者 | 落合香代子(マミングス代表/江東子育てネットワーク代表) 齋藤直巨(養育里親/チャレンジ中野 grow happy♡代表) 鈴木萬佐子(特別養子縁組当事者/エンライト編集部) |
| ファシリテーター | 高橋ライチ(STEPファミリー・シェアハウス子育て当事者/エンライト編集部) |

家族の形が多様化する現在、子育て家庭や子ども達を地域がどのように支えていけばいいのでしょうか？ 江東区・中野区それぞれで子育て支援の団体を主宰しているお二人と、特別養子縁組の当事者である鈴木萬佐子さんに、それぞれの立場から語っていただきます。ファシリテーターは、自身もSTEPファミリーとシェアハウス子育て当事者である編集部の高橋ライチ。

会場には写真展のほか、編集部おすすめの本を自由にお読みいただける「えんBOOKS」コーナーも設置！

/ セッション 01 /

前半はゲストに映画監督・小澤雅人さんをお招きし、現在制作中の特別養子縁組をテーマにした新作映画についてお話をうかがいます。後半は小澤監督に加え、虐待被害者の痛みを可視化した写真集『Internal Notebook』が海外で賞を獲得など国内外で高く評価されている写真家の長谷川美祈さん、自身の虐待体験を描いたコミックエッセイ『母になるのがおそろしい』が話題のヤマダカナンさんの3名のアーティストに、社会的養護・家庭養護に対する芸術の可能性について語っていただきます。



長谷川美祈
『Internal Notebook』
2019年7月にイタリアから出版予定



ヤマダカナン
『母になるのがおそろしい』1,080円
(KADOKAWAメディアファクトリー)

/ セッション 02 /

地域の子育てネットワークを主宰する落合香代子さんと、養育里親でもある齋藤直巨さん、特別養子縁組の養親である鈴木萬佐子さん、そしてSTEPファミリー当事者でもある編集部の高橋ライチによるトークセッションです。里親家庭・養子縁組家庭についてお話しいただき、子育てのヒントをうかがうとともに、「家族の機能とは?」「必要な周囲の理解とは?」「地域で子育てを支えるためにできることは?」といったテーマについて、会場のみなさんも一緒に考えていきましょう。

- 小澤雅人…映画監督。1977年生まれ。おもな作品に児童養護施設から脱走した少女と少年の一夜の逃避行を描いた『風切羽 かざきりば』(2012/第14回全州国際映画祭コンペ作品賞受賞)、性暴力被害者の苦しみを描いた『月光』(2016/第32回ワルシャワ国際映画祭インターナショナルコンペティション部門正式出品)など。
- 長谷川美祈…1973年福岡県生まれ、神奈川県在住。昭和女子大学生活環境学科卒。数年間設計士として勤務した後、プロの写真家として活動を始める。作品集『Jewels』が LensCulture Emerging Talents 2014 Top 50 に選ばれ、高い注目を集める。2017年、手製本『Internal Notebook』がオランダの Unseen Dummy Award で特別賞を受賞。世界中の写真集関係のフェアなどにも選出されるなど、世界中で評価を得ている。
- ヤマダカナン…大阪府高槻市出身。98年「山田可南」名義でデビュー。代表作に『薄飯家のごはんは長男の光がつくっている。』(幻冬舎)、『親友いないの誰?』(集英社) コミックエッセイ『母になるのがおそろしい』(KADOKAWAメディアファクトリー) など多数。女性誌や青年誌など幅広く執筆。
- 落合香代子…(ママリングス代表/江東子育てネットワーク代表/看護師/SANE(性暴力被害者支援看護師))
- 齋藤直巨…(養育里親/チャレンジ中野 grow happy♡代表)
- 鈴木萬佐子…(特別養子縁組養親/エンライト編集部)
- 高橋ライチ…STEPファミリー・シェアハウス子育て当事者/エンライト編集部)

新しいつながりに、ひかりをあてる

近年、特別養子縁組や里親、STEPファミリーといった血縁によらない『新しいつながり』の家族が増えています。

多様化する家族の、まだまだ知られていない実情やそれぞれが抱える悩みや問題について知ることは、当事者の方々や支援に直接関わるの方々のみならず地域でともに暮らす人々にとっても、大切なことです。

「新しいつながりに、ひかりをあてる」をスローガンに誕生した Webマガジン Enlight (エンライト) 初のイベントはさまざまな形で新しいつながりに関わる方々をゲストにお招きし、社会的養護・家庭養護や地域の子育て支援についてお話をうかがいます。

一人ひとりが自分に関わることとしてとらえ、理解を深めることで子どもの未来と幸福について改めて考える機会になれば幸いです。



Webマガジン Enlight (エンライト) とは?

社会的養護・家庭の養護に関わる人々を紹介する Webマガジンとして2018年に誕生しました。里親や養親の当事者の人や社会的養護・家庭養護に従事する方々へのインタビュー、社会的養護家庭養護を漫画でわかりやすく説明した連載『知ることからはじめよう～子どもをささえるしくみ』、さまざまな人のつながりを描いた映画を紹介するコラムなどを掲載しています。 <http://enlightfostercare.com>

